

令和7年度 大分県産業科学技術センター 企業向け技術研修 一覧表

R7/10/16現在

No	担当	状態	テーマ名	詳細 リンク先	概 要	講師・説明者	開催日	開催場所	想定 定員	受講料 円/人
1	電磁力 担当	計画中	測定技術セミナー ～磁束密度波形 制御装置～（仮）		これから電気機器の設計開発を行う技術者、または電磁材料の磁気特性評価など電磁気計測に興味のある技術者を対象とした初學者向けの技術研修です。 【講義】 軟磁性材料測定のための基礎知識 【実習】 磁束密度波形制御装置の操作	㈱ブライトック	令和8年1月中旬 ※機器導入後	センター 第2研修室	5	0
2	機械・ デザイン 担当	実施済	2025年度グッドデザイン賞 応募 説明会・個別相談会	https://ww.aita-ri.jp/19632/	グッドデザイン賞の応募をご検討、または応募手続きを進めていただいている方に、個別の応募対象について記入のポイントや応募カテゴリなど、具体的なご相談をお受けする「個別相談会」と「応募説明会」を開催します。	日本デザイン振興会 事業部・渡部・明子氏 産業科学技術センター 職員	令和7年4月22日（火） 13：30～17：10	センター 第1研修室 C201	10	0
3		募集中	スモールツールの基本、幾何公差 の基本	https://ww.aita-ri.jp/20767/	現場における寸法測定の基本機器であるノギス・マイクロメータ・ダイヤルゲージについて、基本的な測定スキルを学びます。	株式会社ミットヨ エンジニア	令和7年11月4日（火） 令和7年11月5日（水）	センター 第1研修室	30	0
4		計画中	3D C A Dセミナーライノセラスモデ リング基礎 （オーダーメイド型）		工業デザインの現場で広く活用されている3D-CAD（ライノセラス）について、基本的なモデリングを学ぶオンラインセミナーです。	産業科学技術センター 職員	随時 令和7年11月～令和8年1 月	リモート開 催	2	0
5		計画中	三次元技術活用セミナー		県内の製造業を対象に、最新の三次元技術に関する情報、3Dプリンタを活用した製品開発事例や生産現場での活用事例などを紹介し、生産活動の効率化に寄与します。	株式会社 リコー（予定）	令和8年1月	センター 第1研修室	7	0
6		募集中	高速度カメラ出張技術講習会	https://ww.aita-ri.jp/20314/	県内企業の技術課題の解決方向上と高解像度ハイスピードカメラの利用促進を図るために開催します。 前半30分：高速度カメラ操作のための基礎的な取扱説明講習 後半30分：受講者による取扱・操作および現場の撮影条件に適した応用講習	産業科学技術センター 職員	随時 令和8年3月中旬まで （要日程調整）	依頼企業の 敷地内（県 内のみ）ま たはセン ター内	5	0
7		募集中	サーモグラフィ出張技術講習会	https://ww.aita-ri.jp/20316/	県内企業の技術課題の解決方向上とサーモグラフィの利用促進を図るために開催します。 前半30分：サーモグラフィ操作のための基礎的な取扱説明講習 後半30分：受講者による取扱・操作および現場の撮影条件に適した応用講習	産業科学技術センター 職員	随時 令和8年3月中旬まで （要日程調整）	依頼企業の 敷地内（県 内のみ）ま たはセン ター内	5	0
8	金属担 当	募集中	マイクロフォーカスX線CT装置の操 作実習セミナー	https://ww.aita-ri.jp/20226/	X線CT装置は、金属や樹脂、電子部品等様々な製品の内部を非破壊で観察することが可能であり、品質管理やリパースエンジニアリング等に広く用いられています。本セミナーでは実機での操作実習をとおして、サンプルの非破壊観察とCT画像取得の流れを体験いただけます。	産業科学技術センター 職員	随時 令和8年3月13日まで （要日程調整）	センター D102	4	1,200
9		募集中	顕微鏡観察・硬さ測定のための評 価試料作製及び評価技術の研修	https://ww.aita-ri.jp/20237/	材料や部品の研究開発、品質管理において、顕微鏡観察・硬さ測定は重要な評価手法の一つであり、それらの評価には切断や研磨等の試料の前処理を必要とする場合があります。本研修では、当センターが所有する評価試料作製装置や評価装置（金属顕微鏡、薄膜硬度計等）を用いた実習により、前処理技術と評価技術を学ぶことができます。	産業科学技術センター 職員	随時 令和8年2月27日まで （要日程調整）	センター G105	6	0
10		募集中	卓上型走査電子顕微鏡の操作実習 セミナー	https://ww.aita-ri.jp/20366/	卓上型走査電子顕微鏡は、製品・材料表面の微小領域を観察・元素分析することで、研究開発や品質管理、クレーム対応に有用な情報が得られる装置です。本セミナーでは実機での操作実習をとおして、サンプルの微小領域の観察とEDSによる元素分析の流れを体験いただけます。	産業科学技術センター 職員	随時 令和8年2月27日まで （要日程調整）	センター G109-1	3	0
11		募集中	微小部蛍光X線分析装置操作研修	https://ww.aita-ri.jp/20243/	微小部蛍光X線分析装置は固体材料及り異物の元素分析（主に金属元素）ができます。FP法による簡易定量も可能です。令和5年度にJKA補助金により新機種に更新しました。これまで以上に短時間で測定から報告書作成まで可能です。新機種の概要から一般的操作手順の解説を行います。	産業科学技術センター 職員	随時 令和8年2月27日まで （要日程調整）	センター C303	3	0
12	工業化 学担当	募集中	X線光電子分光分析装置（XPS）操 作研修	https://ww.aita-ri.jp/20307/	装置の基本的な操作手順から、測定データの解析・活用方法までを実践的に学びます。	産業科学技術センター 職員	随時 令和8年2月27日まで （要日程調整）	センター B204-3	3	0
13		募集中	イオンクロマトグラフ操作研修	https://ww.aita-ri.jp/20252/	R2年度に更新したイオンクロマトグラフの一般的な操作方法の実演・実習を行います。 ①測定試料の調製方法 ②イオンクロマトグラフIntegriion（インテグリオ）の操作方法	産業科学技術センター 職員	随時 令和8年3月末まで （要日程調整）	センター B305	3	0
14		募集中	高周波プラズマ発光分析装置（ICP-OES） 操作研修	https://ww.aita-ri.jp/20247/	高周波プラズマ発光分析装置（ICP-OES）の一般的な操作方法の実演・実習を行います。 ①測定試料の調製方法 ②高周波プラズマ発光分析装置での測定・解析	産業科学技術センター 職員	随時 令和8年3月末まで （要日程調整）	センター B307	3	0
15		募集中	産総研技術セミナー in おおいた 2025	https://ww.aita-ri.jp/20519/	国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）・機能化学研究部門・研究者を招き、「バイオものづくり」に関する研究開発事例を紹介します。 また、産業科学技術センターによる食品や農業に関する研究開発事例も紹介します。	産業技術総合研究所 職員 産業科学技術センター 職員	令和7年11月7日（金） 13:30～16:45	センター 多目的ホー ル オンライン	50	0
16		募集中	カーボンニュートラル時代のLCA基 礎研修	https://ww.aita-ri.jp/20653/	初心者にも分かりやすく、LCAの背景から手法、算定例を紹介します。	株式会社LCAエキスパートセン ター	令和7年11月11日（火） 13:30～15:30	オンライン	20	0
17		実施済	第1回食品加工技術高度化研修会	https://ww.aita-ri.jp/20263/	新たに表示を作成する方や現在販売している商品の表示を確認したい方を対象に、食品表示に関する概要や最新情報について実習を交えた研修会を行います。	外部講師 産業科学技術センター 職員	令和7年7月15日（火） 13:30～16:00	センター	100	0
18	食品産 業担当	計画中	食品加工技術高度化研修会		地域資源の活用や安心安全な加工品製造技術の高度化等を目的に研修会を開催します。 （食品表示について、賞味期限の設定について、乾燥機等を利用した食品開発など、からトピックスを取り上げます）	外部講師 産業科学技術センター 職員	10月、1月（予定）	センター	講義 形式 100 名 実習 形式 10名	0
19		募集中	食品の表示および賞味期限設定の ポイントとその方法	https://ww.aita-ri.jp/20207/	食品を製造・販売するうえで必要な食品表示と賞味期限・消費期限の設定に関するポイントを解説します。食品表示および賞味期限・消費期限設定の際の基礎と留意すべきポイントと併せて、必要な科学的根拠などの設定方法を個別に解説します。	産業科学技術センター 職員	随時 平日9:00-12:00または 13:30-16:30 （要日程調整）	センター	3	0
20		募集中	食品の品質管理技術向上のための 分析技術研修	https://ww.aita-ri.jp/20217/	自社製品の品質維持、向上のためには、まず製品毎の特性を知ることが鍵となります。その評価の手法として機器分析などを取り入れることができれば、「安全・安心」な製品を安定的に生産することが可能となります。そこで、品質評価のターゲットとなる成分を見極め、その分析技術導入のための支援を総合的に行う研修を、各社の要望に対応した内容で個別に実施します。	産業科学技術センター 職員	随時 平日9:00-12:00または 13:30-16:30 （要日程調整）	センター	3	0